

2027年3月期 第1四半期(FY2026 1Q) 決算概要

2026年8月3日

千代田化工建設株式会社

(証券コード：6366)



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

説明者



代表取締役 社長
太田 光治



代表取締役専務執行役員 CFO
出口 篤

AGENDA :

1. ハイライト
2. 損益計算書
3. バランスシート
4. 受注高・受注残高

Appendix

CFOの出口です。

本日は決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

2027年3月期第1四半期決算の概要について、資料に沿ってご説明します。

1. ハイライト

中東情勢

- ◆ 中東情勢に伴う第1四半期業績への影響は、期初時点の想定より軽微
- ◆ 米国－イラン間の緊張状態は続いているため、引き続き状況を注視

業績

- ◆ 通期予想に対する進捗度は、純利益段階で45.9%となり順調なスタート
- ◆ 完工総利益率は、前年同期と同率の10.4%を維持

受注

- ◆ 第1四半期の受注額は310億円にとどまるも、今期は下期を中心とした受注計画であり、通期目標3,000億円は達成の見通し
- ◆ 今後の復旧需要に対応すべく、各種検討に着手

まず、2ページ、「1. ハイライト」をご覧ください。

1点目は、「中東情勢」についてです。

当第1四半期において、中東情勢による業績への影響は、期初時点での想定より軽微にとどまりました。

一方で、米国・イラン間の緊張状態は続いているため、引き続き状況を注視していきます。

2点目は、当期「業績」についてです。

純利益は55億円となり、通期予想に対する進捗率は45.9%と、順調なスタートとなりました。

また、完工総利益率は、前年同期と同率の10.4%を維持しております。

3点目は、「受注」に関してです。

当第1四半期の受注高は310億円となりましたが、今期は下期を中心に主要案件の受注を見込んでおり、通期目標である3,000億円達成に向けて、概ね想定どおりに推移しています。

また、中東情勢に関連した今後の復旧需要に対応すべく、各種検討に着手しています。

2. 損益計算書

	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減	FY2026 通期予想	進捗率
完成工事高	905	868	△ 37	3,400	25.5%
完成工事総利益	94	90	△ 3	295	30.7%
完成工事総利益率	10.4%	10.4%	+ 0.0pt	8.7%	—
販売費・一般管理費	△ 43	△ 43	△ 0	△ 195	22.2%
営業利益	51	47	△ 4	100	47.2%
営業利益率	5.6%	5.4%	△ 0.2pt	2.9%	—
経常利益	70	63	△ 7	140	44.9%
純利益 ^{*1}	64	55	△ 9	120	45.9%
為替レート (円/米ドル)	145	162		155	

(単位：億円)

1 完成工事総利益 内訳	分野	FY20251Q	FY20261Q
	エネルギー	68	42
	地球環境	26	48
	合計	94	90

*1 親会社株主に帰属する純利益



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

3

続きまして3ページ、「2. 損益計算書」をご覧ください。

当第1四半期の実績を表の濃い水色の列で、前年同期比の増減を、その右列にお示ししています。通期予想は、右端から数えて2列目、通期予想に対する進捗率をその右列にお示ししています。

当第1四半期の完成工事高は**868**億円と、前年同期に対して**37**億円の減収となりました。これは、主要海外大型案件の殆どが、建設工事のピークを過ぎたことが主な要因です。

利益に関しては、完成工事総利益は**90**億円、営業利益は**47**億円、経常利益は**63**億円、純利益は**55**億円となりました。

ゴールデンパスLNGプロジェクトの契約変更に伴う一過性利益があった前年同期に対しては減益となりましたが、いずれの利益項目も通期予想に対して順調な進捗となりました。

なお、欄外に注釈をいれておりますが、完成工事総利益の分野別の内訳は、エネルギー分野が**42**億円、地球環境分野が**48**億円となりました。

前年同期比では、エネルギー分野は前期のゴールデンパスLNG関連の一過性要因の反動および海外の完工済案件に係る追加工事コストの影響により、**25**億円の減益となりました。

一方、地球環境分野は、新規受注案件の順調な進捗と中小案件の積み上げが寄与し、**22**億円の増益となりました。

3. バランスシート

(単位：億円)

	2026年 3月末	2026年 6月末	増減		2026年 3月末	2026年 6月末	増減
流動資産	4,889	3,990	△ 899	流動負債	3,708	3,486	△ 222
現金・預金等	1,452	1,697	245	営業負債 ^{※3}	3,165	3,016	△ 149
営業資産 ^{※1}	551	451	△ 100	工事損失引当金	56	56	0
JV持分資産 ^{※2}	1,680	1,650	△ 30	固定負債	272	66	△ 206
固定資産	249	224	△ 25	純資産	1,159	662	△ 496
総資産	5,138	4,214	△ 924	負債・純資産	5,138	4,214	△ 924
^{※1} 営業資産 = 電子記録債権 + 完成工事未収入金及び契約資産 + 未成工事支出金 ^{※2} JV持分資産 = ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金 ^{※3} 営業負債 = 電子記録債務 + 工事未払金 + 契約負債				自己資本	1,139	641	△ 498
				自己資本比率	22.2%	15.2%	△ 7.0 pt



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

次に、バランスシートをご説明します。

4ページのスライドをご覧ください。

左の表の一番下、総資産は、前年度比**924**億円減少し、**4,214**億円となりました。

これは主に、本年**6**月に実施した優先株式の初回償還及び劣後ローン返済により、現金・預金及び自己資本が減少したことによるものです。

4. 受注高・受注残高

【分野別受注高・受注残高】

(単位：億円)

	FY2026 1Q 受注高	2026年6月末 受注残高
エネルギー分野	165	4,369
地球環境分野	145	1,240
合計	310	5,609

【受注残高 主要案件】

	1,000億円 以上	500億円 以上	100億円 以上	その他
エネルギー分野	カタール NFE LNG	中東 石油・石油化学関係	米国 ゴールデンパスLNG 国内 LNG受入設備	—
地球環境分野	—	—	一般化学設備 硫化リチウム大型製造装置	固体電解質大型パイロット装置

続きまして、5ページ「4. 受注高・受注残高」をご覧ください。

受注高は**310**億円ですが、先程ご説明したとおり、
今年度は下期を中心に主要案件の受注を見込んでおります。

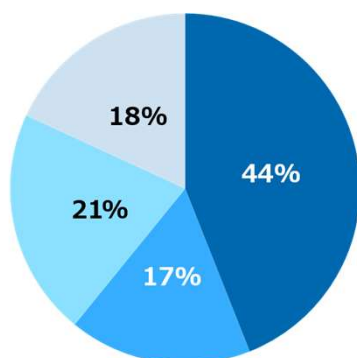
受注残高の主要案件はスライド下部の表をご覧ください。

Appendix

6ページ以降はアペンディクスとして完成工事高・受注高・受注残高の内訳および業績推移に関する資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

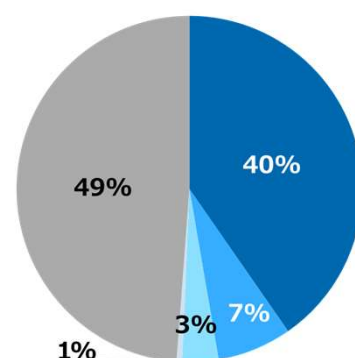
以上で、決算概要の説明を終わります。

分野別



エネルギー	528
■ LNG・その他ガス関係	382
■ 石油・石油化学	147
地球環境	339
■ 医薬・生化学・一般化学関係	182
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	157
合計	868

地域別

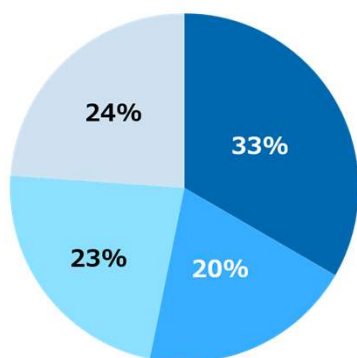


■ 中近東・アフリカ	350
■ 北中南米	60
■ アジア・オセアニア	29
■ その他海外	5
■ 日本	423
合計	868

Appendix 受注高 内訳

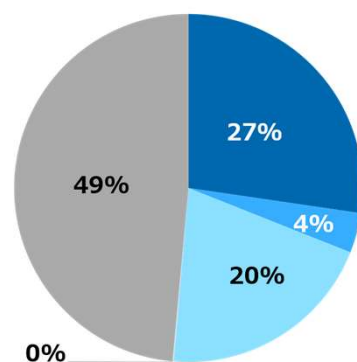
(単位：億円)

分野別



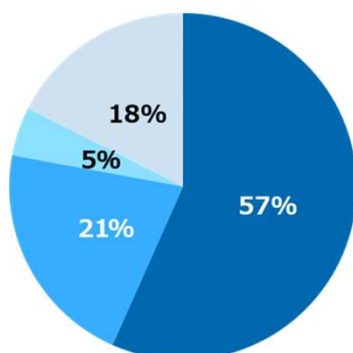
エネルギー	165
■ LNG・その他ガス関係	103
■ 石油・石油化学	61
地球環境	145
■ 医薬・生化学・一般化学関係	71
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	74
合計	310

地域別



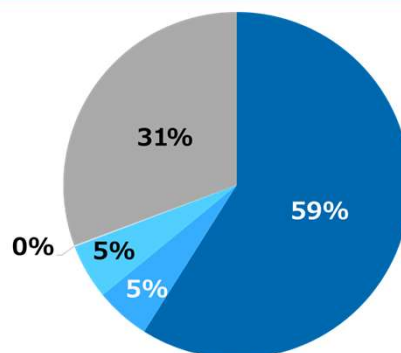
■ 中近東・アフリカ	85
■ 北中南米	12
■ アジア・オセアニア	63
■ その他海外	0
■ 日本	150
合計	310

分野別



エネルギー	4,369
■ LNG・その他ガス関係	3,178
■ 石油・石油化学	1,191
地球環境	1,240
■ 医薬・生化学・一般化学関係	255
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	985
合計	5,609

地域別



■ 中近東・アフリカ	3,307
■ 北中南米	286
■ アジア・オセアニア	289
■ その他海外	7
■ 日本	1,720
合計	5,609

Appendix

主要財務データの推移

(単位：億円)

	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 予想
完成工事高	5,109	3,420	3,859	3,154	3,111	4,302	5,060	4,570	4,939	3,400
エネルギー	4,255	2,518	3,126	2,399	2,162	2,719	2,752	2,882	3,623	—
地球環境	854	902	733	755	949	1,582	2,308	1,687	1,317	—
完成工事総利益*1	86	△1,811	428	201	228	327	△2*4	423	1,005	295
エネルギー	—	—	329	155	138	209	△223	255	858	—
地球環境	—	—	100	46	90	118	222	168	147	—
販管費	209	186	160	130	122	146	148	179	184	195
営業利益	△123	△1,998	268	70	105	181	△150*4	244	821	100
当期利益*2	64	△2,149	122	80	△126*3	152	△158*4	270	847	120
自己資本	1,576	△601	244	364	157	222	49	237	1,139	—
受注高	3,012	7,716	1,798	8,988	4,159	1,550	2,375	2,113	2,980	3,000
受注残高	6,535	10,164	8,118	11,261	13,310	11,489	9,939	7,399	6,131	—

*1 FY2017、FY2018は完成工事総利益の事業分野別の内訳を作成しておりません

*2 親会社株主に帰属する純利益

*3 特別損失 ▲204億円含む（顧客との和解等によるプロジェクト関連損失）

*4 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用 ▲370億円含む



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
千代田化工建設株式会社
財務企画室 IRグループ
E-Mail : ir@chiyodacorp.com



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

